

2026年度入試を制する 中学受験専門家庭教師の活用法 第一志望校への合格、共に叶えましょう!

今年の一都三県の中学受験は昨年同様、受験者数・倍率ともに高い水準を保って推移しました。東京都が打ち出した私立高校の實質無償化や私立中学校への補助金制度等から、中学受験への関心が高まった年となりました。加えて、受験校を偏差値や倍率等の数字だけで決めるのではなく、お子さんと中学校との相性を重視した選び方を考える家庭が増えたことも特徴です。

就学支援が中学受験に影響 難易度と取り組みが変化

森上 2025年度の首都圏都三県の入試状況を見ますと、東京都は就学支援の影響も出て、これまで少なかった東京西部の受験者数が非常に増えました。埼玉県は開校した開智系の中の人気の影響で、例年倍率が1.5倍程度の中学校在籍者も出しています。

モチベーションを維持して 長丁場を闘い、乗り切る!

森上 千葉県・埼玉県の試験は1月から始まりますが、東京都・神奈川県は2月からです。1月の試験で調子よく受かった結果、2月の第一志望校では少々力が抜けてしまっているというケースも少なくありません。

プロの眼と技が光った、問題を解決して合格!

谷地又 先ほどの受験校と、やはり成績についてのご相談が最も多いです。今年送り出したある家庭の例です。専らからは2月1日の受験校について「今年は高倍率のため、安全校に変えて押さえた上で本命校に挑戦しては」と言われたそうです。

今この勉強への向き合い方で 伸びも結果も変わります

森上 6年生はこの時期、どのような勉強法が効果的でしょうか。谷地又 難しい問題を解こうと躍起になるよりも、確実に解ける問題を増やそう努力することが大切です。

偏差値と倍率だけでなく 「決め手」を見逃さない

森上 それはとても大事です。それだけではなく、偏差値や倍率だけではなく、学校独自の特色や、先生方の質なども重要なポイントです。

教務の現場から① 第一志望校にこだわろう!

先日家庭訪問した際、太いマジックで「麻布合格」と書かれたA4の貼り紙を拝見。お子さんの勉強するリビングの位置から見える柱に貼ってあったのですが、とても新鮮に感じました。

勉強を円滑に回すのが プロ家庭教師の役割です

谷地又 「6年生になると通塾回数が増えるので、家庭教師を付けるという負担が大きくなるので」という声を聞くことがよくあります。



森上 展安氏 早稲田大学法学部卒 代表取締役 (株)森上教育研究所

中学受験・中等教育に関する新聞、雑誌等へのコメント多数。毎週中学受験生の保護者対象に「わが子が伸びる親の【技】研究会」(oya-skill.com)を主宰。近者に「中学受験はじめての学校ガイド2015」(共著)。



(左)教務 奥野 功一朗氏 (中央)教務 谷地又 俊明氏

麻布個人指導会 学生は一切派遣していません 創立39年 中学受験の専門家庭教師を派遣いたします